

事業所における自己評価表結果(児童発達支援)

公表: 令和 2年 3月 12日

事業所名: 北海道社会福祉事業団もなみ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		プログラムの内容に応じ、個別指導室、ホール、プレイルームの3室を使用した活動スペースを分けています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士1名を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		2階部を事業所として開設し階段があるため、身体的配慮が必要です。ホールを中心に、個室を配置しています。活動のスケジュールは、視覚情報を交え分かりやすいよう工夫しています。	今後も、子どもたちや保護者にわかりやすい形で情報発信出来るよう努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃を徹底し、清潔を保っています。冬期間は、薬用噴霧器を使用し保湿を保っています。	衛生環境の保持につとめます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日次のミーティング実施しています。心理士を含め、ケースカンファレンスや療育的アドバイスをもらい、療育支援の見直し検討を行っています。	業務改善に努めます。
	⑥	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様へ評価を実施しています。業務改善に取り組んでいます。	保護者からのご意見を参考に、業務改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者向け評価及び自己評価を実施し、その結果について保護者様に公表しています。	保護者向け評価及び自己評価を公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		H26年に第三者による支援状況点検を実施しています。	今後は法人の方針に基づいて実施検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修、また外部研修に積極的に参加しています。	職員の資質向上を図るため、今後も積極的に研修に参加してまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもや保護者のニーズを面談等で把握した上で、アセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツール(乳幼児精神発達診断法等)を使用し、子どもの発達の客観的評価を行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもや保護者ニーズを踏まえ、総合的な支援内容を設定するよう心がけているほか、地域関係機関と連携し支援内容を設定しています。	保護者のニーズを踏まえ、丁寧な説明と内容の充実にも努めてまいります。今後も、地域関係機関と連携してまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		子どもの課題と支援計画、支援プログラムの内容を確認しながら支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		子どもの課題を確認しながら活動プログラムを設定しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		支援計画に基づいて、マンネリにならないようプログラムを検討しています。	個々の特性に沿った、多様な療育プログラムになるよう工夫します。